

※以下の「時期」は目安となります。正確な日程は各年度の大学院学暦で確認してください。

入学から修了までの論文作成モデル行程表		
時期	行事・授業	行事・授業項目説明
1年次		
4月初旬	入学式・履修指導・指導教員決定	学生は専攻主任から履修方法について説明を受ける。学生は入学前の志願書に希望指導教員を記載しているが、入学後に正式に指導教員が決まる。
4月中旬	科目履修届提出	学生は、指導教員と相談の上で履修科目を決め、大学院事務室に科目履修届を提出する。科目履修届には指導教員の承認印が必要である。
4月～7月	科目「1年次演習」(春)の授業	学生は、指導教員が担当する「1年次演習」(春)の授業の中で、論文とは何か、論文のテーマの探し方、論文の幾つかのある型、文献の探し方を含めた論文の作成手順を学ぶ。
夏季休暇期間	自学自習	行程表通り進んでいない点を補充する。
9月～1月	科目「1年次演習」(秋)の授業	学生は、指導教員が担当する「1年次演習」(秋)の授業の中で、論文のテーマを煮詰めていき、先行業績を渉猟する。
春季休暇期間	自学自習	行程表通り進んでいない点を補充する。
3月下旬	英語で修士論文を書く場合の申請準備	英語で修士論文を書くには、指導教員と話し合っ、指導教員に4月の定例教授会に申請書を出してもらい、そこで承認を取る必要がある。申請書作成、副査への打診等の準備を進める。
2年次		
4月中旬	科目履修届の提出	学生は、指導教員と相談の上で履修科目を決め、大学院事務室に科目履修届を提出する。科目履修届には指導教員の承認印が必要である。
4月下旬	修士論文等の題目届提出	修士論文等の題目届を大学院事務室に提出しなければならない。その際、修士論文を書くのか特定課題研究成果報告書を書くのかを決めて大学院事務室に報告しなければならない。
4月～7月	科目「論文指導」・「特定課題研究」の授業	学生は、指導教員が担当する「研究指導」又は「特定課題研究」(春)の授業の中で、大まかな論文の主題、仮の全体構成を決め、それに従って試行的に文章化してみる。この過程において論文の主題、全体構成が軌道修正されることも当然ありうる。文章化してみることで、思考が明瞭になったり不足部分が発見されることが期待される。

4月～7月	科目「合同演習」	学生は、科目「合同演習」の中で、作成段階にある修士論文又は特定課題研究成果報告書のプレゼンテーションを科目担当教員と履修学生の前で行い、質疑応答の中で、示唆を受ける。この科目は、論文作成のペースメーカーにもなりうる。
7月中旬	修士論文等の中間報告会	学生が、修士論文又は特定課題研究成果報告書の中間報告を教員と在学生に開かれた場で行う。最低3人の中核教員が中間報告を聞き、報告学生と質疑応答をし、これからの論文作成に向けて示唆を与える。中間報告を行っていない者には修士論文又は特定課題研究成果報告書の提出資格がない。
夏季休暇期間	自学自習	行程表通り進んでいない点を補充する。
9月～1月	科目「論文指導」・「特定課題研究」の授業	論文の作成の作法に適合した論文構成、目次作成、文献リスト作成、注付け、引用方法を実践して、論文を書き進めていき、論文を完成させる。
1月初旬	修士論文等の提出	完成した修士論文又は特定課題研究成果報告書を大学院事務室に提出する。
1月下旬又は2月上旬	修士論文等の審査	提出した修士論文又は特定課題研究成果報告書に関する口頭試問を主査（1名）と副査（2名）から受ける。合否及び満点を100点とする評価がなされる。
3月	修了式	修了できれば修士号が取得できる。